



# 2025 環境報告書

株式会社アルト

40th  
anniversary  
.A L T.  
Amenity Life Together



## 目 次

1. はじめに	1
1－1 緒 言	1
1－2 対象期間及び対象組織	2
2. 事業の概況	4
2－1 環境管理組織	4
2－2 事業内容	4
3. 事業活動における環境配慮の方針等	7
4. 事業活動への環境配慮の組込みに関する目標、計画 及び実績等の総括の概要	9
4－1 産業廃棄物再資源化の推進	9
4－2 環境負荷の低減	11
4－3 環境・適正処理に関する情報提供	15
4－4 社会貢献・CSR	16
5. 環境マネジメントシステムの状況	19
6. 環境に関する規制の順守状況	20
7. 資源・エネルギーの使用の状況	21
8. 環境負荷の低減に資する製品等の状況	23

# 1. はじめに

## 1-1 緒 言

### 「“廃棄物処理業”から“資源循環産業”への転換期」

昨今の世界情勢、国内の動きは急速に変化し始めている。

我々の業界には、従来の適正処理を大切に継続しながら、社会的な要請が強い廃棄物・資源循環分野における脱炭素化に向け時代価値を創造し、資源循環（サーキュラーエコノミー）を実現させなければならないという大きな課題がある。ひいては、人々が豊かさと幸福を実感できる持続可能な未来社会のあるべき姿に貢献しなければならない。

当社は、如何なる事態にも創業以来の経営理念である、「環境の美化とリサイクルを通じて気持ちの良い街づくりに貢献する」を基に忠実に対応して参ります。何卒変わらぬご支援・ご愛顧の程宜しくお願い申し上げます。

この環境報告書の作成・公表は、環境への取組に対する社会的説明責任を果たすことを目的としています。同時に皆様のご意見、ご指導をいただくことが、「株式会社アルト」の環境への取組の改善と社会からの信頼を勝ち得ていくことに大いに役立つと考えます。



2025年6月  
環境管理統括責任者  
代表取締役 坂下 明義

## 1-2 対象期間及び対象組織

この環境報告書は、2024 年度の「株式会社アルト」における一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物中間処理及び再資源化事業、建設・解体工事及びこれらに付随するすべての業務の環境に関わる活動について取りまとめたものです。



社名：株式会社アルト

代表者：代表取締役 坂下 明義

所在地：本社事業所 富山市水橋市田袋 280  
針原営業所 富山市針原中町 491-1

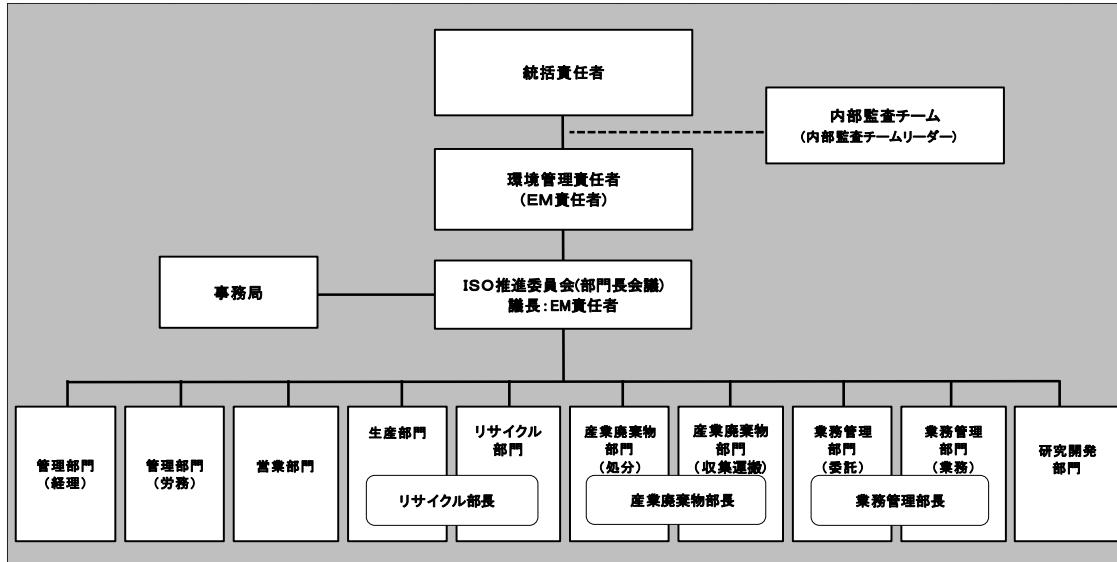
沿革 1985年 創業  
1987年 2月2日法人設立  
1992年 2月 富山県産業廃棄物収集運搬業許可取得  
1996年 9月 富山市産業廃棄物処分業許可取得  
1997年 2月 株式会社アルトに名称変更  
2003年 1月 ISO14001 認証取得  
2004年 10月 新社屋、リサイクルプラント A 棟、B 棟稼働  
2008年 8月 富山県知事建設業許可取得  
2009年 2月 リサイクルプラント C 棟稼働

- 2011年 3月 廃食用油のBDF化事業を開始
- 2012年 4月 研究開発室を新設
- 2013年 7月 グリセリン洗剤EXALT(エクザルト)製造装置を新設
- 2015年12月 ISO14001認証に解体工事部門を追加
- 2016年 4月 リサイクルプラントB棟の飲料容器リサイクル施設を更新
- 2016年 6月 健康企業宣言
- 2016年12月 ISO14001/2015年版への移行 認証を取得。
- 2017年 2月 ペットボトルキャップによる福祉用具支援事業 開始。
- 2017年 3月 とやま障害者フレンドリー企業 認証を取得。
- 2017年 9月 健康企業宣言 Step1認定
- 2017年10月 蛍光ランプリサイクルプラントが操業開始
- 2018年 2月 長野県産業廃棄物収集運搬業 許可取得
- 2018年 4月 千葉県産業廃棄物収集運搬業 許可取得
- 2019年 3月 健康企業宣言 Step2認定
- 2019年 3月 組織変更により、環境本部を新設
- 2019年 4月 リサイクルプラントB棟を増築
- 2020年 1月 ペットボトル破碎機を更新
- 2020年 2月 ホームページをリニューアル
- 2020年11月 イクボス企業同盟とやま加盟
- 2020年11月 元気とやま! 子育て応援企業登録
- 2021年 1月 富山市SDGs サポーター登録
- 2021年 3月 「健康経営優良法人2021ブライト500」を認定取得
- 2021年 9月 「富山県SDGs宣言」にSDGsへの取組を宣言
- 2022年 3月 針原営業所の飲料容器リサイクル施設を更新
- 2022年 3月 「健康経営優良法人2022ブライト500」を認定取得
- 2023年 5月 公社)日本青年会議所の「ベビーファースト」に賛同し、「ベビーファースト宣言」を行う。
- 2025年 3月 「健康経営優良法人2025ブライト500」を認定取得



## 2. 事業の概況

### 2-1 環境管理組織



環境目標が設定されている業務に限らず、その他の業務についても目標を設定し、すべての事業プロセスに環境マネジメントシステムを適用した運用を進めています。

### 2-2 事業内容

#### ①産業廃棄物収集運搬業

富山県  
富山市 (積替保管)  
石川県  
福井県  
岐阜県  
新潟県  
長野県  
千葉県



の各県市で産業廃棄物収集運搬業の許可を受け、収集運搬を行っています。

また、上記の全ての各県市で「優良産業廃棄物処理業者」の認定を受けています。

## ②特別管理産業廃棄物収集運搬業



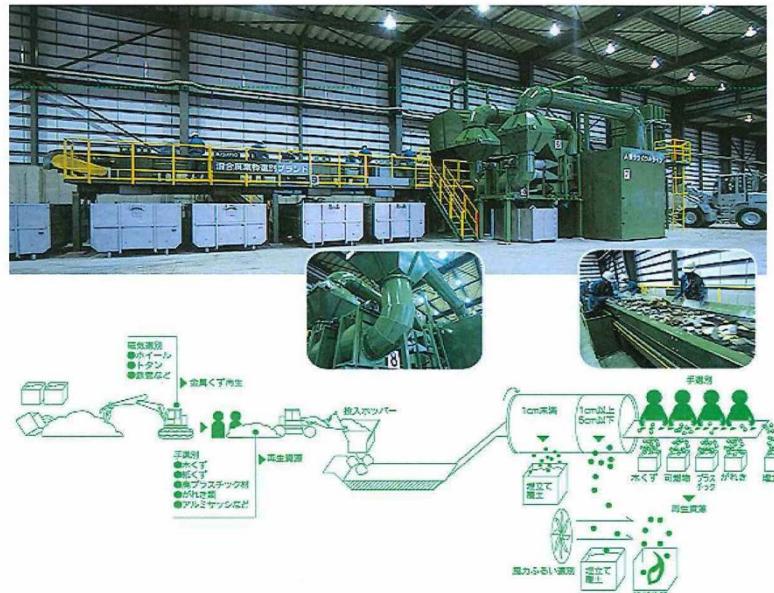
富山県全域の病院などの医療機関から排出される感染性廃棄物を収集し、焼却施設へと運搬しています。

特別管理産業廃棄物収集運搬業でも、富山県より「優良産業廃棄物処理業者」の認定を受けています。

## ③産業廃棄物処分業 (中間処理)

収集した産業廃棄物を選別、破碎などの処理により資源化しています。

また、処分業でも、富山市より「優良産業廃棄物処理業者」の認定を受けています。



## ④一般廃棄物収集運搬業

### a.市町村委託事業

富山市、舟橋村からの委託により、ごみステーションから、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源物」などの家庭ごみを収集しています。



### b.事業系一般廃棄物収集運搬業

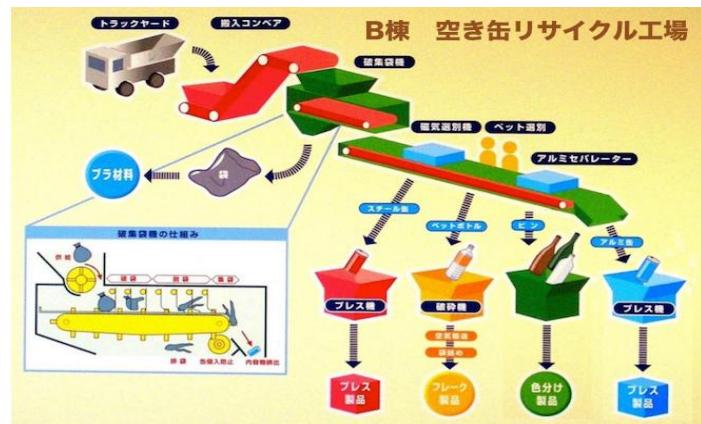
富山市 舟橋村 立山町 上市町  
滑川市 射水市 砺波市 南砺市

の県内8市町村で一般廃棄物収集運搬業許可により、事業系一般廃棄物の収集運搬を行っています。

## ⑤資源リサイクル事業

空き缶、ペットボトル、ダンボールなどの資源物を工場・事業場から回収し、再資源化しています。

自治振興会や町内会と契約し、空き缶などの資源物を回収しています。その収益は地域の活動に役立っています。



## ⑥建設・解体工事業

建築物の解体から建設工事、それに伴う建設廃棄物の処理まで一貫して行います。



### 3. 事業活動における環境配慮の方針等

#### 『環境理念』

株式会社アルトは、一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬と産業廃棄物中間処理及び建設・解体工事を通じて地球環境問題に携わる企業であることを認識し、今まで培った「知識・技術・経験」を活かした事業活動を行います。

また、これらの活動の次世代への継承とその責任に対する取り組みは、資源のリサイクル化を通じ、顧客、社会に認められるリサイクル産業を実現し、循環型社会の形成に貢献するとともにSDGs（国連が掲げる「持続可能な開発目標」）の達成にも貢献します。



#### 『環境方針』

1. 当社の活動に関わる環境側面を常に認識し、環境保全に努めます。
2. 環境方針、環境目標を定め、SDGsとの関係を明らかにし、これらを定期的に見直し、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
3. 当社に関わる環境関連法規、条例、規制等を順守します。

4. 以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

① 法的要求数項及びその他要求数項の順守

事業活動に伴う法的要求数項及びその他要求数項を順守し、自主的な管理基準を設定し、更なる環境保全と廃棄物の適正処理に努めます。

② 廃棄物適正処理の具体策

廃棄物の適正処理は、地域環境問題に重要な課題である事を認識し、組織活動を通じて環境負荷の軽減を重視し、選別業務を的確に行う事により廃棄物の削減と有効活用に努めます。

③ 環境保全管理の実施

事業活動において環境目標を設定し、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。洗車時における水質汚染等の予防、排出積込時及び建設・解体工事の騒音・振動・粉じん発生の抑止、燃料、電力などのエネルギーの削減に努めます。

④ 環境意識の育成

環境分野の専門業として、全従業員一人一人がその課せられた責務を理解し、「環境方針」を教育・訓練により全従業員に周知し環境保全の意識を育成し、また全従業員への環境教育の実施により環境マネジメントシステムの維持向上を図ります。

⑤ 排出事業者との共生

排出事業者に向けて環境保全の目的、廃棄物の分別等に関する的確な情報を提供し、排出事業者と共生できる環境活動を行います。

⑥ 奉仕活動の実施

企業活動の一環として地域の美化運動企業活動の一環として地域の美化運動や社会福祉に努め、奉仕活動を通じて地域社会に貢献します。

⑦ 健康経営の取組

従業員への健康施策を積極的に行い、先進的な取り組みとして地域全体の健康づくりに貢献し、すべての人が健康でいきいきと働き続けることができる社会を目指します。また、奉仕活動を通じて地域社会に貢献します。

5. 環境方針を徹底する為にホームページ上に掲示し、利害関係者からの要求があればこの方針の配布版を提供します。

## 4. 事業活動への環境配慮の組込みに関する目標、計画及び実績等の総括の概要

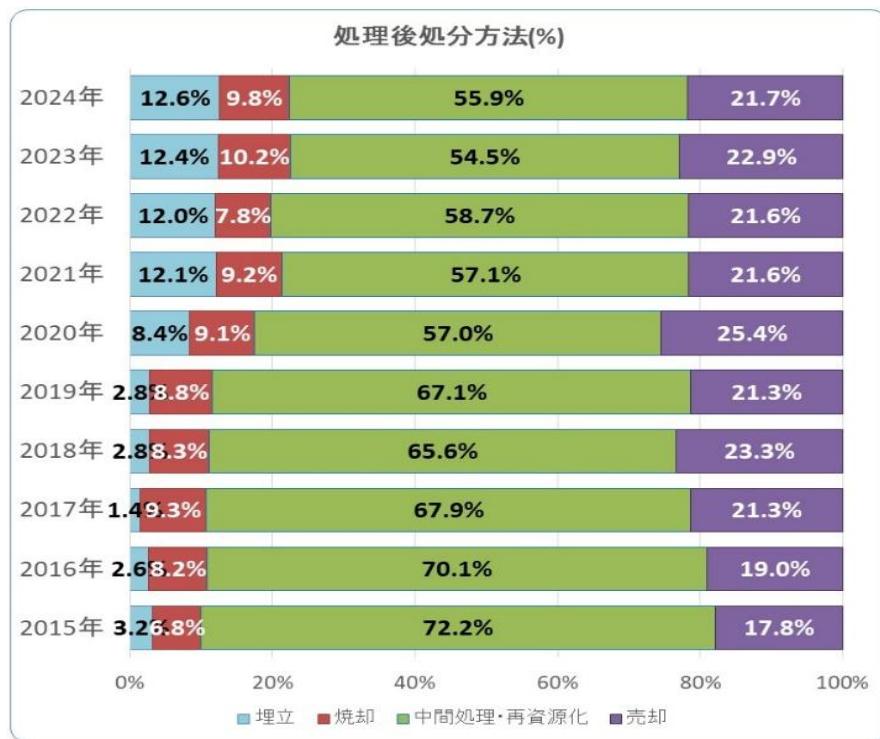
### 4-1 産業廃棄物の再資源化推進



#### ① 埋立処分量、焼却処理量の削減

2024 年度におけるアルトに搬入された産業廃棄物の処理後処分方法の割合は、埋立処分率 12.6%で、やや増加傾向にあります。一方、焼却処理率は 9.8%と 2023 年度よりやや減少しました。

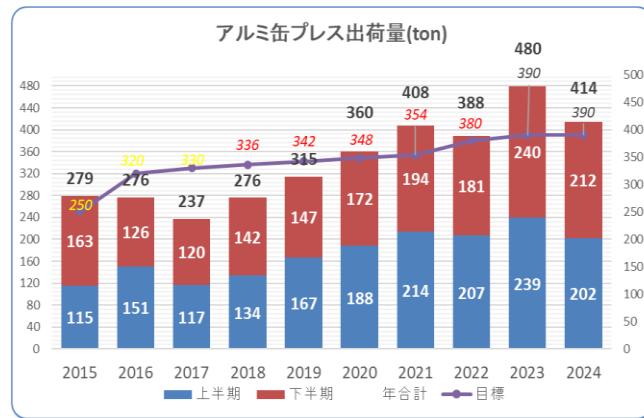
中間処理・再資源化率は、55.9%、有価物売却率は、21.7%で、これらを合わせると 77.6%が資源として生まれ変わっています。



## ② 飲料容器の資源化

### a.アルミ缶

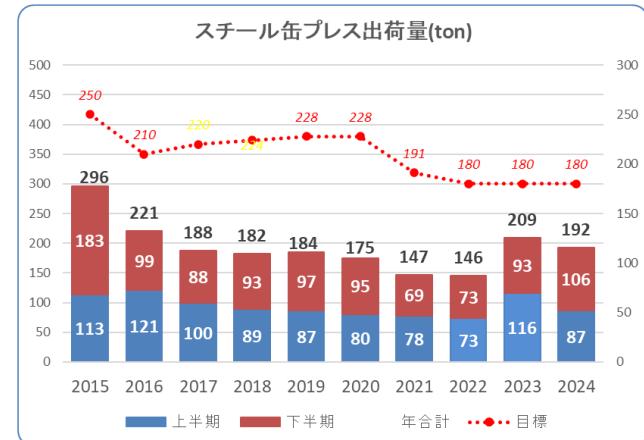
飲料缶におけるアルミ缶の割合は年々大きくなっています。アルミ缶プレスの生産量は増加傾向にあります。2024年度は前年度の特殊要因がなくなったため、前年度実績比14%減少しましたが、今後も増加傾向は続くと予想されます。



### b.スチール缶

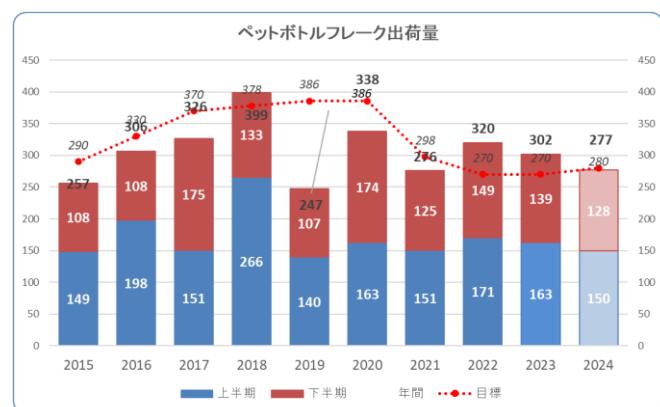
近年、スチール缶は、軽量化とペットボトルへの移行により、空き缶全体に占める割合が縮小傾向にあります。

2024年度のスチール缶プレスの生産量は、アルミ缶同様前年度の特殊要因の影響もあり、前年度実績比8%の減少となりました。



### c.ペットボトル

ペットボトルフレークは2018年度をピークに需要が伸び悩んでいます。2024年度の出荷量は前年度比9.2%減少しました。

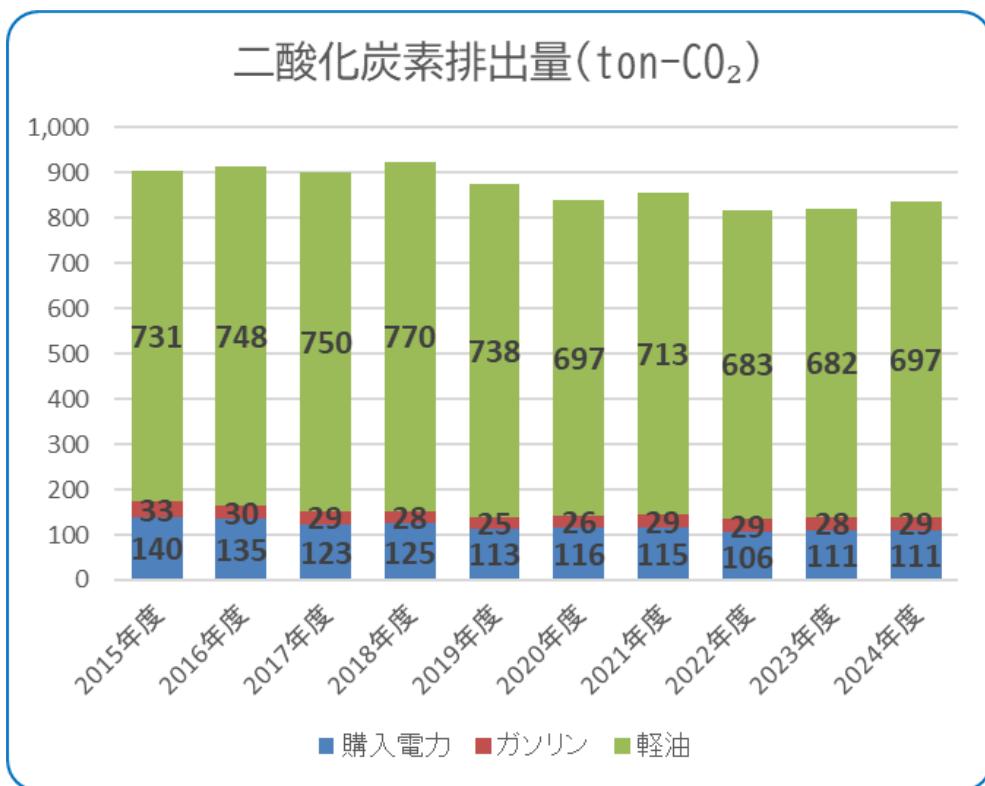


## 4-2 環境負荷の低減



### ① 温室効果ガス排出量

2024 年度の温室効果ガス排出量（二酸化炭素）は、電力使用量は前年度比ほぼ横ばいでしたが、軽油・ガソリン共に前年度実績を上回り、2023 年度に比べわずかに増加しました。



年度	エネルギー消費		消費量	排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	割合
	購入電力(kwh)	化石燃料			
2015年度	ガソリン(ℓ)	14,153	224,286	139,954	15.5%
	軽油 (ℓ)	278,491		32,858	3.6%
	計			730,855	80.9%
				903,668	
2016年度	ガソリン(ℓ)	12,917	216,906	135,349	14.8%
	軽油 (ℓ)	285,111		29,989	3.3%
	計			748,217	81.9%
				913,555	
2017年度	ガソリン(ℓ)	12,571	197,346	123,144	13.6%
	軽油 (ℓ)	285,730		29,186	3.2%
	計			749,855	83.1%
				902,185	
2018年度	ガソリン(ℓ)	12,255	200,004	124,802	13.5%
	軽油 (ℓ)	293,595		28,452	3.1%
	計			770,493	83.4%
				923,747	
2019年度	ガソリン(ℓ)	9,982	180,918	112,893	12.9%
	軽油 (ℓ)	279,316		25,278	2.9%
	計			738,013	84.2%
				876,184	
2020年度	ガソリン(ℓ)	11,345	186,482	116,365	13.9%
	軽油 (ℓ)	265,487		26,339	3.1%
	計			696,728	83.0%
				839,432	
2021年度	ガソリン(ℓ)	12,526	185,114	115,511	13.5%
	軽油 (ℓ)	271,552		29,072	3.4%
	計			712,552	83.1%
				857,135	
2022年度	ガソリン(ℓ)	12,840	170,235	106,227	13.0%
	軽油 (ℓ)	260,245		29,789	3.6%
	計			682,883	83.4%
				818,899	
2023年度	ガソリン(ℓ)	11,908	177,547	110,789	13.5%
	軽油 (ℓ)	259,961		27,638	3.4%
	計			682,137	83.1%
				820,564	
2024年度	ガソリン(ℓ)	12,834	177,650	110,853	13.2%
	軽油 (ℓ)	265,726		29,774	3.6%
	計			697,265	83.2%
				837,892	

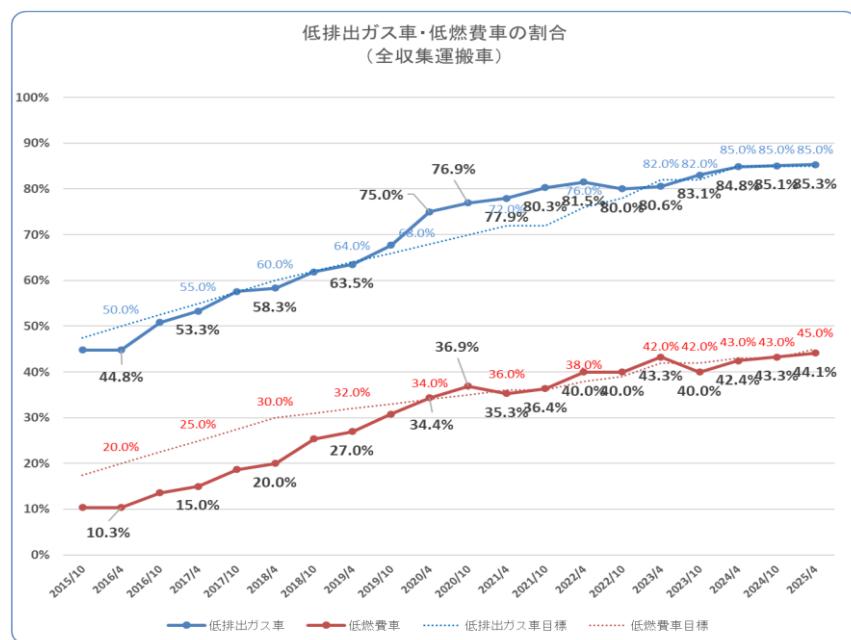
(※)排出係数：北陸電力 0.624Kg-CO<sub>2</sub>/kwh で計算

## ② 低排出ガス車・低燃費車導入による大気汚染の防止

低排出ガス車・低燃費車については、毎年度導入を進め、2025年5月時点で低排出ガス車適合が、88.2%となりました。

低燃費車の導入状況については48.5%となっています。

2025年度の環境目標では、低排出ガス車は85%、低燃費車は45%の目標を設定しています。今後もさらに基準適合車の比率を高めていきます。



## ③ 解体工事の騒音・振動防止

特定建設作業の場合、敷地境界線において、騒音は85dB、振動は震度2（75dB相当）を超えないことを目標として作業を行ってきました。

住宅地などで敷地境界線と作業場所が近い場合は、できる限り低騒音低振動型工法の採用や作業時間帯を検討し、事前説明を充分に行い、近隣の生活環境に著しい悪影響を与えることなく、苦情の申し立てがないよう努めています。



## ④ 水質汚濁の防止

本社事業所、洗車場の美化及び排水処理施設を新設し、排水管理の徹底に努めました。

また、水質自主基準を設定し、管理しています。

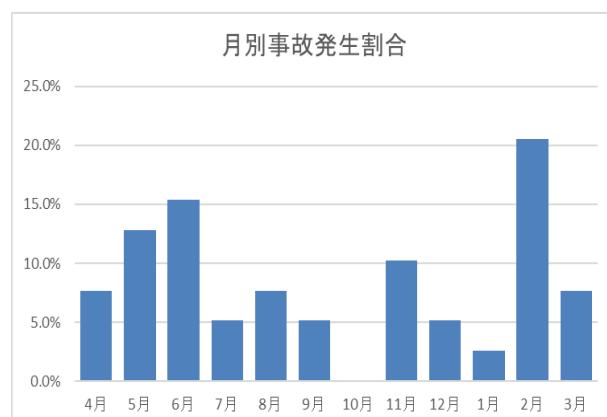


## ⑤ 事故による環境汚染の予防

交通事故やプラント内での事故により環境が汚染されるリスクを低減するため、事故傷病については、軽微なものを含め、原因を明らかにし、再発防止を図っています。

また、全社員が参加する安全対策の教育・訓練をはじめ、各部門の業務特性や使用車両、使用機械などに応じたリスクアセスメントや部門教育に取り組んでいます。

事故等の発生件数は、2024年は前年度比べ大幅に増加しました。大きな要因としては2月の大雪でスリップ事故等が多発したことが挙げられます。しかし他にも軽微な事故がほぼ毎月発生しており、あらためて基本動作を徹底し、発生件数の削減に取り組んでまいります。



## ⑥ 書類の PDF 化、データ化

2023年度から新たに「書類の PDF 化、データ化」を環境目標に掲げ取り組んでいます。初年度に引き続き、お客様のご理解もいただきながら、FAX→電子メールなどへの移行を中心取組を進めています。

結果、OA 紙の購入量は取り組みを始める前の 2022 年度に比べ約 11% 減少しました。

## 4-3 環境・適正処理に関する情報提供



### ①優良産廃業者の情報公開

優良産廃業者の認定条件では、情報公開の定期的更新が求められており、産廃情報ネットでの内容更新をおこなっています。

併せて「活かそう資源プロジェクト」や「優良さんばいナビ」に情報公開し、より幅広い皆様への情報提供に努めています。

This screenshot shows the homepage of the Mizuhashi Alt website. At the top, there are navigation links for '産業廃棄物処理業者検索' (Search for industrial waste management companies), 'WRI 産廃情報ネット' (WRI Industrial Waste Information Network), and 'WRI 優良産廃業者データ登録・変更' (Registration and change of data for excellent waste management companies). Below the header, a search bar is labeled 'さんばいくん' (Sanbaikun). A message below it says 'さんばいくん'をご利用いただきありがとうございます。メニューを選択してください' (Thank you for using 'さんばいくん'. Please select the menu). The main content area features several buttons: 'データ検索・検索' (Data search), '産業廃棄物登録・変更' (Registration and change of data), and '排出事業者向けメール/情報管理サービス' (Email and information management service for waste management companies). There are also links for '産業廃棄物処理業者登録' (Registration of industrial waste management companies) and '産業廃棄物登録・変更' (Registration and change of data).

### ②ホームページの活用

ホームページは、市内をはじめ県内外からの多くの人に閲覧していただいている。ホームページからお問い合わせいただいた中には、契約に結び付いたものも多くあり、廃棄物処理業者を選考する際に、インターネットを活用する排出事業者が増えていることがうかがえ、さらに情報提供の内容を充実していきます。

<https://alt-mizuhashi.com>

This screenshot shows the 'Alt's Business' section of the Mizuhashi Alt website. It features a grid of circular images illustrating different waste management services: '一般固形物収集・運搬' (Collection and transport of general solid waste), '産業廃棄物収集・運搬' (Collection and transport of industrial waste), 'リサイクルボックス' (Recycling box), '料金算定・受取申請' (Quotation calculation and receipt application), '産業廃棄物中回収機' (Industrial waste intermediate recovery machine), '建設工事・精細工' (Construction work and fine work), and '資源物の販賣' (Sale of resources).

## 4-4 社会貢献・CSR



### ① プラント見学会を通じての社会貢献

排出事業者の処理施設確認や小学生の環境学習など、例年多くの見学者が来社されます。2020年度以降、コロナ禍のため実施できない期間が長く続きましたが、昨年度からは従前同様に受け入れ態勢を整え、見学者の年齢・ニーズに合った内容が提供できるよう努めています。



### ② 奉仕活動

善意銀行への募金活動や、毎年5月30日のごみゼロの日の美化清掃活動などを行っています。



創業40周年とな  
った今年のごみゼロの日は、例  
年よりも範囲を拡大し、本社か  
ら針原営業所までの沿道の清  
掃を行いました。



### ③ 啓蒙活動

2023年度から環境目標に「啓蒙活動」を加え、廃棄物やリサイクルについての出前講座などを受け付けています。

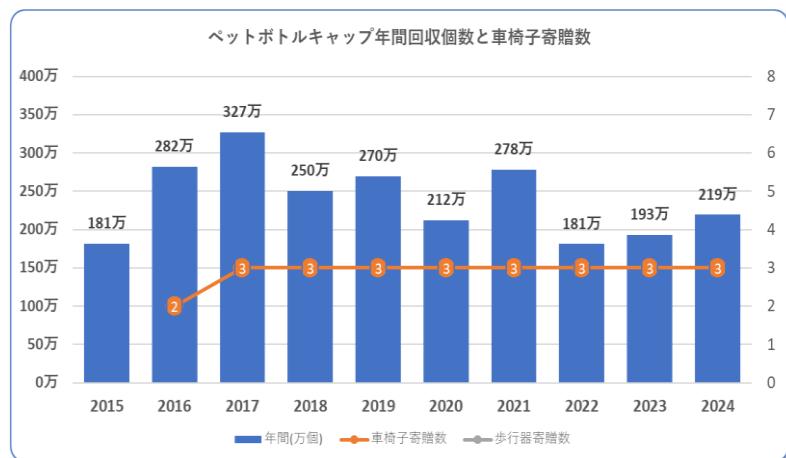
皆さんに廃棄物やリサイクルのことを知っていただける機会を少しでも増やせたらと思います。



### ④ ペットボトルキャップによる福祉用具支援事業

ペットボトルキャップ回収事業を、より積極的に取組み、ご協力いただいている地域の皆さまの善意を、より確実に必要とされている方々に直接お届けするため、「株式会社アルト」独自の活動として2016年度より「ペットボトルキャップによる福祉用具支援事業」を実施しています。

今年度は第9回目の福祉用具支援として、2025年3月、富山県社会福祉協議会と立山町社会福祉協議会には車いすを、舟橋村社会福祉協議会には歩行器を各1台寄贈しました。



富山県社会福祉協議会

立山町社会福祉協議会

舟橋村社会福祉協議会

## ⑤ 自治振興会等が行う資源回収への協力

富山市内の自治振興会や町内会の実施団体と契約し、空き缶回収をしています。

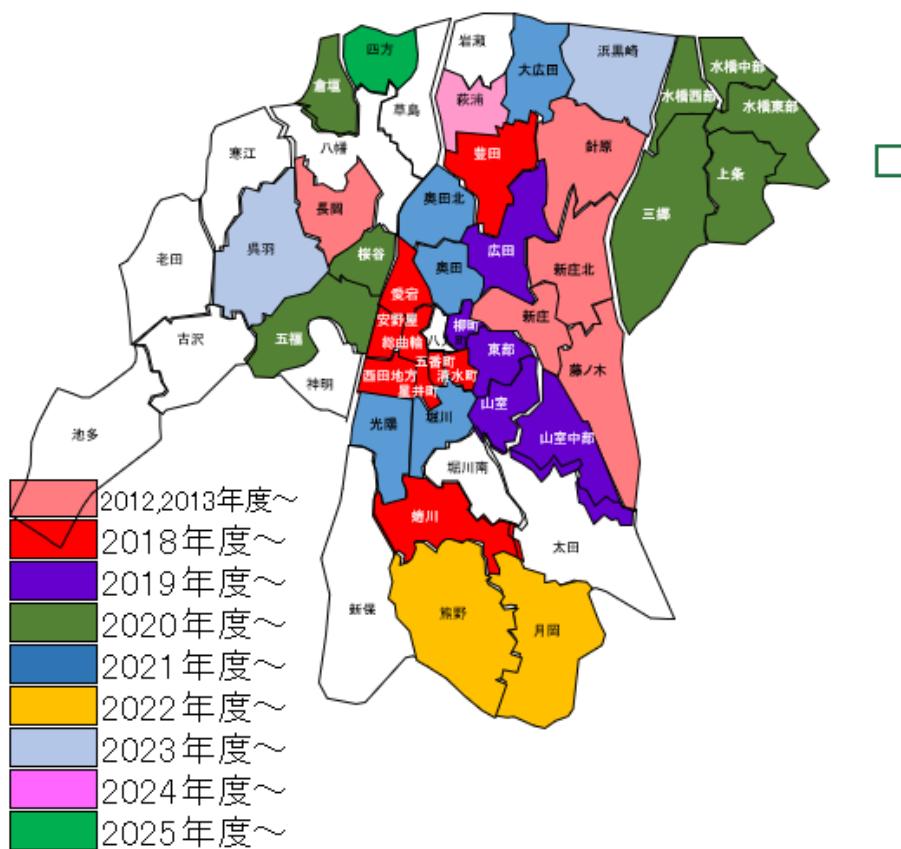
2024 年度は、37 自治振興会より 323,756kg を回収しました。



収益は、実施団体に還元され地域の活動資金となっています。

2025年度は、新たに1自治振興会が加わり、計38の自治振興会で空き缶回収が実施されています。

空き缶回収実施自治振興会



## 5. 環境マネジメントシステムの状況

株式会社アルトにおける環境マネジメントシステムは、2003年1月にISO14001の認証を取得してから20年余りが経過し、この間、本社移転、リサイクルプラントの増設及び工事部門の追加登録等の様々な課題に取組んで来ました。

これらの課題に対して、環境マネジメントシステムを引き続き、適切、妥当かつ有効に運用してきた結果として、廃棄物処理業の大きなりスクである環境汚染や大事故の発生を未然に防止することができました。

また、リサイクル推進により循環型社会の形成に貢献し、奉仕活動、プラント公開、環境教育にも積極的に取り組んだことにより、社会的にも評価されるようになりました。

2025年度は、環境目標の内容を大きく見直し、より実態に即した環境への取組を図っています。



登録組織：株式会社 アルト

所在地：富山県富山市水橋市田袋280

貴組織の環境マネジメントシステムは、当社による審査の結果、下記の適用規格の要求事項に適合していることを証します。

適用規格：ISO 14001:2015/JIS Q 14001:2015

登録範囲：下記に係わる事業活動

- ① 産業廃棄物の収集運搬及び中間処理（選別・破碎）
- ② 一般廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬
- ③ 廉ペットボトルの再資源化（破碎によるペットフレーク製造）
- ④ 空き缶の再資源化（選別・圧縮）
- ⑤ 廉食用油のリサイクル（アルカリ触媒法によるBDF製造及びグリセリン洗剤製造）
- ⑥ 建築物等の解体工事

登録範囲に含まれる事業所：

本社：富山県富山市水橋市田袋280

【登録範囲に同じ】

針原営業所：富山県富山市針原中町491-1

【廃棄物の選別、保管】

登録番号：E1355

更新日：2024年 1月21日

初回登録日：2006年 3月 9日

有効期限：2027年 1月20日

更新決定日：2023年12月14日



日本検査キューエイ株式会社

東京都中央区入船二丁目1番1号

代表取締役社長 菅野 良一



## 6. 環境に関する規制の順守状況

環境関連法令に違反し、行政処分や指導を受けた事例はありませんでした。

水橋本社については、騒音規制法が適用され、毎年2回、敷地境界における騒音を測定しています。



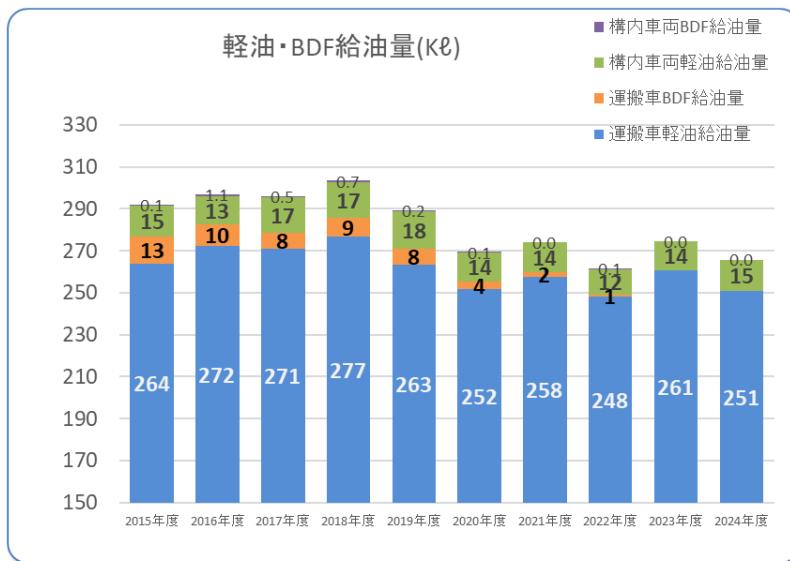
また、規制基準が適用されない排出水についても、pH、SS、BOD、油分について、年2回の測定を実施し、自主基準の順守に努めています。

項目	自主基準
pH	5.8~8.6
SS	70 mg/ℓ
BOD	20 mg/ℓ
油分（鉱油）：	5 mg/ℓ
（動植物油）：	15 mg/ℓ

## 7. 資源・エネルギーの使用状況

### ① 燃料消費量

エコドライブの推進、維持管理の徹底による燃費異常車の発生防止、低燃費車の導入等により化石燃料消費の抑制に努めています。



### ② 電力消費量

株式会社アルト本社の月平均電力消費量は、2024 年度においては 14,804KWh となっています。

2015 年度以降はデマンド監視サービスの導入や、使用状況の見直しにより減少傾向にありましたが、2022 年度以降は猛暑の影響などで漸増傾向にあります。



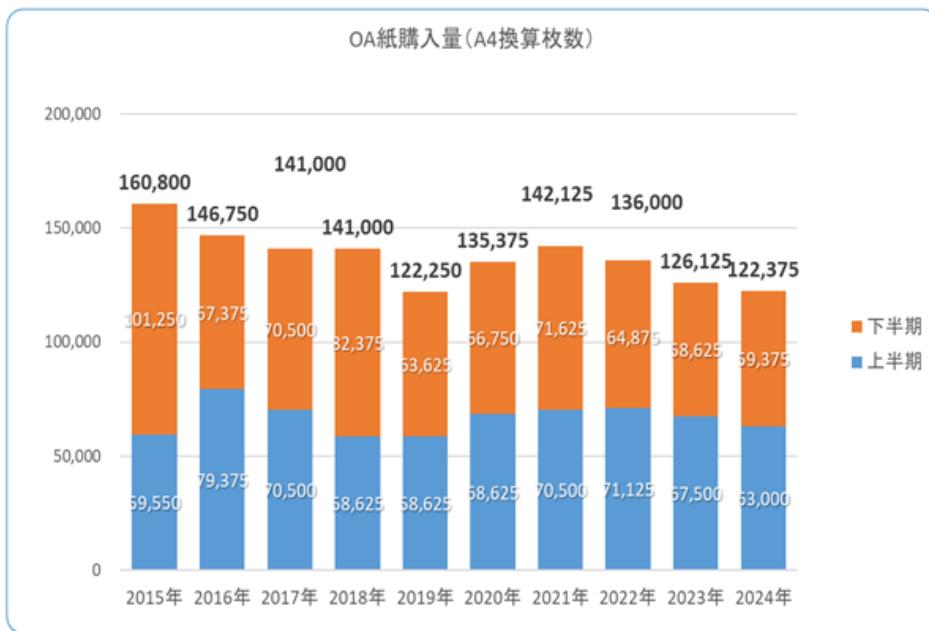
### ③ 水道使用量

2018年度より水道使用量を環境目標、環境管理計画に追加し、水道使用方法を見直した結果、2019年度以降の使用量は従来から見ると半減しました。



### ④ OA用紙購入量

2024年度のOA用紙購入量は122,375枚と、3年連続の減少となりました。昨年度から新たに環境目標に追加した「書類のPDF化、データ化」の取組効果が少しずつ出てきています。今後さらにペーパーレス化を進め、購入量の削減に努めます。



## 8. 環境負荷の低減に資する製品等の状況

廃食用油からBDF（バイオディーゼル燃料）を製造する際に発生する廃グリセリンを利用した洗浄剤 EXALT（エクザルト）を製造・販売しています。

EXALT（エクザルト）は、富山県リサイクル製品の認定を受けています。

富山県リサイクル製品認定  
シンボルマーク



**A menity** **Life** **Together**  
ここち良い 暮らしを 共に

この報告書に関するご意見、お問い合わせは下記までお願いします

株式会社アルト 環境本部  
富山市水橋市田袋 280  
電話番号 076-478-5388  
FAX番号 076-478-5322  
E-mail: [recycle@alt-mizuhashi.com](mailto:recycle@alt-mizuhashi.com)